

[普及事項]

新技術名：種子が少ない糖度が高い三倍体スイカ新品種「秋試交16号」（平成20～25年）

研究機関名 農業試験場 野菜・花き部 園芸育種・種苗担当
担当者 三浦一将・椿信一・他1名

[要約] 三倍体スイカ新品種「秋試交16号」は「あきた夏丸」と同等の果実外部特性を有している。種子がほとんどないことから食べやすく、糖度が高くてシャリ感が強い^{ため}食味特性に優れている。

[普及対象範囲] 秋田県内のスイカ生産者。

[ねらい]

秋田県が育成したオリジナルの大玉縞皮スイカ「あきた夏丸」は、栽培の容易さと食味の良さから、本県の主力品種として定着している（2013年度の作付面積は約110ha）。また、品種名を明示した販売促進活動の結果、「あきた夏丸」の認知度は高まり、他品種より高単価で販売されている。さらに、より効果的に本県産スイカの良食味を市場や消費者に認知してもらうためには、「あきた夏丸」の果実品質を維持しつつ、より糖度が高く食べやすい姉妹品種を育成することが有効であると考え、その一つとして種子が少ない三倍体の「あきた夏丸」タイプの品種育成を図る。

[技術の内容・特徴]

1. 「秋試交16号」は、コルヒチン処理により「あきた夏丸」の父本を倍数化して得られた四倍体の系統を母本とし、「あきた夏丸」の母本を父本として組み合わせ、2008年に育成した三倍体のF1品種である（図1）。
2. 「秋試交16号」は、二倍体品種「あきた夏丸」と比較すると果重、果形比、果皮色、縞の太さのいずれも同等である。糖度は高く、果肉色はやや淡いが、果肉の硬さとシャリ感は同等である。また、「秋試交16号」には着色しいながわずかにあるが、種子がない（表1）。
3. 「秋試交16号」は三倍体品種「ほお晴れ」と比較すると果皮色と縞の色は濃く、果形は球形で変形しにくい^{ため}優れる。糖度は同程度で、果肉色はやや淡く、果肉は軟らかく、果皮が厚いが、シャリ感が強い^{ため}食味に優れる（表2、図2）。

[成果の活用上の留意点]

1. 白い「しいな」は、他品種と同様に点在するが、気にせず食べることができる。
2. 黒い「着色しいな」は通常1果あたり数粒程度であるが、三倍体の特性として「着色しいな」の数は変動しやすい。
3. 三倍体品種の特性上、低温伸長性が弱いため、5月上旬以降の定植に適する。
4. 着果には二倍体品種の花粉が必要であるため、二倍体品種も栽培する必要がある。
5. 「あきた夏丸」の約10%にあたる10haに普及見込み。

[具体的なデータ等]

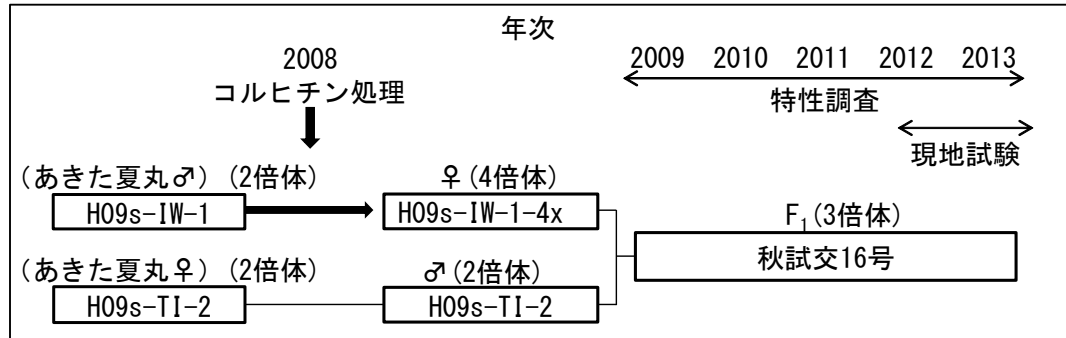


図1. 「秋試交16号」の育成経過

表1. 二倍体品種「あきた夏丸」と比較した「秋試交16号」の果実特性(2013年、育成地)

品種・系統名	外部特性				内部特性					
	果重 (kg)	果形 比	果皮 色	縞 太さ	糖度 Brix (%)	果肉色	果肉 硬さ	シャリ 感	種子 (粒/果)	着色しいな (粒/果)
秋試交16号	8.6	0.99	濃緑	太	13.6	紅赤	中	強	0	4
あきた夏丸 (対照)	8.5	1.02	濃緑	太	12.3	ヤ濃紅赤	中	強	315	0
対対照品種の評価	○	○	○	○	◎	△	○	○		

注1) 果形比：果高/果径、着色しいな：種皮が黒～茶色に着色したしいな。評価：対照品種と比較して◎ (優)、○ (同等)、△ (ヤ劣)、× (劣)。

注2) 耕種概要：ハウス整枝栽培、栽培規模4株/系統、2反復、畝間2.5m、株間0.5m、3本仕立て1果どり、播種3月25日、定植4月22日、収穫7月11日、台木はドンK。施肥量(kg/a N:P₂O₅:K₂O)=0.8:1.0:0.6。

表2. 三倍体品種「ほお晴れ」と比較した「秋試交16号」の果実特性(2009～2013年、育成地)

品種・系統名	外部特性						内部特性				
	果重 (kg)	果形	変形	果皮 色	縞太 さ	縞色	糖度 (Brix) (%)	果肉色	果肉 硬さ	果皮厚 (mm)	シャリ 感
秋試交16号	8.0	球	無	濃緑	太	ヤ濃	13.7	紅赤	中	14.2	強
ほお晴れ (対照)	7.5	腰高	少	緑	太	ヤ淡	13.2	濃紅赤	ヤ硬	12.7	中
対対照品種の評価	○	◎	◎	◎	○	◎	○	△	○	×	◎

注1) 「ほお晴れ」は丸種育成の三倍体品種。評価：対照品種と比較して◎ (優)、○ (同等)、△ (ヤ劣)、× (劣)。

注2) 耕種概要：露地トンネル整枝栽培、栽培規模6株/系統、2反復、畝間3m、株間0.8m、3本仕立て1果どり、播種3月中旬、定植5月上旬、収穫8月上旬、台木はドンK。施肥量(kg/a N:P₂O₅:K₂O)=0.8:1.0:0.6。



図2. 三倍体品種「ほお晴れ」と比較した果実の外部および内部の様子